

映像人類学の理論と方法

シークエンス：

- 映画産業
いくつかのシーンの連続からなる一連の局面をさす
映画の構成単位
- 映像人類学シークエンス・フィルムとは、短い時間に、人と人との相互関係に関する細部に集中するような映像を提示する目的で制作された映像資料／作品。

小さな事件の証拠となる、フィルムによる記録とみなすことができる。普通の編集の代わりに、出来事自体をできるだけ詳しく、また長く報告しようとする試み」である
(マーシャル プリガード 1981:113-114)。

「フィルムの時間」が「現実の時間」と一致することもある。

人類学者が興味をいだく「自然発生した人間の行動の連続体」を記録したもの
(Asch 1988:171 ホッキングス 1981:19)。

人類学の教材に役立つ映画形式
(Asch 1988:171 ホッキングス 1981:19)

シークエンス・フィルムへの挑戦した人びと

- ジョン・マーシャル 1950年代初期に、サン族（ブシュマン）の映像記録を5万フィート以上撮影した、ジョン・マーシャルが発想
- ティモシー・アッシュ
人類学教育用の映像を制作する過程で作品を提示
(Asch 1988:8, Ruby 1995, 牛島1989)

John Marshall 代表的なシークエンスフィルム作品



A Group of Women 5分 1961

クン族の女達は しばしば仲間たちと談話し 子供たちと遊ぶ。この5分の映像では、バオバオの樹の木陰で 女達は休み 会話し 子供をあやす ここでは数人の女が助け合い 育児の役割を分かち合うcollective mothering が描かれる。



A Joking Relationship 13 mins 1962

この映像は、若い妻ナイと彼女の大叔父ティカイの間にくりひろげられた いちゃつきの様子を描写している。クン族では、冗談関係が認められる間において、このような親しみ、情動の開放が認められている。



Debe's Tantrum 5分 1961

クンの人びとは子どもを叱らない。叱るとおとなになった際に人間関係作れない人間になると信じているからだ。フィルムは登場人物のつながりを丁寧に解説している。